



栃木県広告業協会

Tochigi Advertising Agencies Association

# 栃木県広告業協会20周年記念祝賀会

日時 ● 平成27年5月15日 会場 ● 宇都宮グランドホテル

## 理事長挨拶

栃木県広告業協会理事長

## 濱田博史



本日は遠い所からもご参加いただきまして、誠にありがとうございます。栃木県広告業協会は平成8年の7月設立から今年で20年が経ちました。新聞・雑誌・テレビ・ラジオの4媒体全盛の時代から、インターネット・モバイルなどの登場によってデジタルメディア時代に移り変わってきておりまして、我々が置かれている環境にも変化の波が押し寄せました。今では、ツイッターやフェイスブックを使ったSNSの時代へと変化しておりまして、これに伴って広告の手法もかなり変わっていくものと思います。

かつて、広告は商品を売るための商品情報を伝えるだけのものでしたが、今では商品を需要あるものにするための情報提供や、社会に対してのメッセージを交えた情報を発信するものとなってきています。今や、広告は「文化」という形で捉えられるものにもなっていますし、これからも、どんな時代になろうとも、広告の使命というものがないことはないものと思っております。

しかしながら、昨今のレコーダーにはCMカットという機能がございまして、我々広告屋やテレビ局にとって脅威のひとつになっております。しかし、それだけ視聴の形態が変わってきていることでもあります。このような変化に対しても、我々広告業を生業としている者は広告活動を活性化させることで、人々の暮らしと経済の発展に役立っていかねばならないと思っております。

協会は20周年を迎えましたけれども、まだまだ目標の位置には達しておりません。広告文化のさらなる向上を目指し、広告活動を通じて文化や経済の発展に寄与する。そういう設立の目標、目的を再確認致しまして、次の30周年に向けて皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いすることと致しまして、ご挨拶と代えさせていただきます。ありがとうございました。

栃木県知事

## 福田 富一 様



この度は、栃木県広告業協会20周年、誠におめでとうございます。

今年のゴールデンウィークを振り返ってみますと、栃木県内の観光施設は活況にあったと思っております。あしかがフラワーパークが前年比143%。日光宇都宮道路は現在、土・日曜、祝日に半額の割引をしておりますが、前年比115%。それから、東北新幹線の大宮―宇都宮間が103%。県内のゴルフ場は軒並み前年比を超えているという状況でございますので、ゴールデンウィークはますますの人出であったかなと思っておりますし、本当に皆様方のお力によるものと改めて御礼を申し上げたいと思っております。

そんな中、ゴールデンウィークに先駆けまして日光市の旧今市に「船村徹記念館 道の駅ニコニコ本陣」というものが、中心市街地の活性化を目的に建設されました。中心市街地に道の駅ができるのは初めてのケースだということですので、大きな関心を持たれているところでございます。ただ、少しばかり駐車場が狭いものですから、日光街道の渋滞を引き起こしているという状況もございますし、宇都宮市から行かれた年配のご夫婦が言うには広告案内が足りないから、後どれくらいで着くのか分からなくて不親切だというような苦情もいただきました。そこで、所管の部署に確認してみましたところ、広告案内は出ているんですね。そんなのはナビがあるんだからすぐに分かるでしょうと言われるかもしれませんが、年寄りはそのような機械を持ってないですし、やっとなんて行って辿り着くくらいなんです。ですから、若い人向けの広告と年配者向けの広告と、そこに来る人の層を見てPRの仕方が変わって当然だと、こういう風に思いました。改めて職員からは、インターを降りたところにはこんな案内が、国道119号線にはこんな案内があるという説明を受けましたけれども、やはり、目立たないんですね。

私も還暦を過ぎました。日々、名刺をたくさん交換しますが、もう小さくてね、名刺の文字が読めない、虫眼鏡でも持って行かないと。それから、色もですねグレー系を使って読みにくい。やっぱり、黒でガチッと書いてもらいたいという風に思います。つまり、どこを対象に広告を打っていくか。そこで文字の大きさであったり色であったり、デザインもですね、十分に考えていく必要があるのではないかと考えておりますので、そんなことも考えていただければありがたいなと思います。

結びに、2月の初めに週刊現代が、全国の都道府県の住み良さランキングというのを発表しまして、山梨、福井、栃木と、全国3番目に住みやすいのが栃木県だという報道をしていただきました。行政といたしましても、いかにメディアに露出をしていくか、あるいは適切かつタイムリーな広報を打っていくかということが非常に重要になってきておりますので、栃木のブランド、知名度を高めるためにも、埼玉県も両隣の茨城県と群馬県も47都道府県ではビリの方ばかりですので、皆んなで力を合わせて、北関東、埼玉も含めてですね、知名度を高めて大勢の国内外のお客様を、あるいはビジネスも含めてですね、呼び込みたいと思っておりますので、20年を機にいたしまして行政との連携もさらに密にしてもらいながら、地域創生という言葉も出てきておりますが、最後のチャンスだと思ってここで出遅れないようにしていきたいと思っておりますので、ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。今日お出での皆様の事業が、各社が大いに発展することをお祈りしましてお祝いの言葉にいたします。おめでとうございます。

前栃木県議会議長

## 螺良昭人様



前栃木県議会議長、螺良昭人でございます。おかげさまで、この前の選挙でまた当選をさせていただきまして5期目の県議員になりましたので、今後とも何卒宜しくお願い致します。

本日は20周年ということでお呼びいただきまして、本当にありがとうございます。私も市議員2期、県議員も5期目に入っている訳ですけれども、ちょうど今年が議員生活20周年ということで、まさに広告業協会様とともに歩んできた20年だったのかなと思っております。というのも、実は私、印刷工業組合の顧問をさせていただいておまして、家の家業も印刷業です。まあ20年前と言えば、広告といったら先ほども知事からご紹介があったように、新聞広告やいろいろなところのパンフレット、そういうものが中心だった訳ですけれども、その後は広告媒体もこの20年間で大きく変化をしてきたところであります。私も家業を手伝った時は、いわゆる企画力などを要求される協同組合で頑張った訳であります。その時代では最先端に近かったと思いますが、今やそれだけにとどまらず、インターネットなどは私もなかなかついていけない、そんな思いでございます。

そういった中で今回、統一選挙を行った訳ですが、ソーシャルネットワークに関してはオール解禁ということで選挙戦に臨んだ中で、やはり広告媒体のあり方というのを、まずはフェイスブックやツイッター、またさまざまなページにバナー広告等が出ている訳であります。そういった企画力というものが大切であり、いろいろな媒体手段をこれから考えていかなければならないと改めて思うところでございます。

栃木県といたしましては、やはりこれから栃の葉国体、その前に東京オリンピック・パラリンピックということで、東京オリンピック・パラリンピックではキャンプ地としても含めて世界各国の方々に来ていただく。また、栃の葉国体では栃木県の情報発信を考えている訳であります。ちなみに、東京オリンピック・パラリンピックではハンガリーがキャンプ地として来てくださることになっています。そういったものすべて、知事がいつも言っている、無名有力県から有名有力県に栃木県を進ませて発展していく。これが、これからの栃木県の発展に肝要だということでもあります。そういった中では、皆様方のお力をお借りしながら、新しい媒体に乗り遅れることなく栃木県をPRしていかなければならない。そういった思いでございます。

これから、一県議員ということになりますが、ぜひ今後とも皆様方いろいろと意見交換をさせていただきながら、また30周年にはお邪魔させていただくことをお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(株)とちぎテレビ代表取締役社長

## 吉澤 文夫 様



ご紹介に預かりました、とちぎテレビの吉澤でございます。本日は広告業協会の20周年、誠にありがとうございます。このように晴れがましい祝宴をご用意されておりまして嬉しい限りでございます。

とちぎテレビはこの4月に17年目に入っておりまして、まだまだ歴史は浅いのですが、取り敢えず義務教育のような時代から社会の荒波に放り出されるような場面に、会社の歴史が差し掛かっています。この間、本当に多くの皆様の支え、とりわけ経営基盤に直結しております営業広告の部分で、ここにお集まりの皆様、協会会員各社の皆様には大変お世話になりました。まずはそのことを御礼申し上げたいと思います。

広告業、なかなか大変でございますけれども、20年前に協会のある意味での一致団結、そして水準の向上、広告文化の引き上げ、さらには県経済への寄与と、諸々そういう思いを込めまして設立された訳でございますが、この20年、結構な波乱があった社の一人として、まずはリーマンショックの時の大きな経済の混乱が広告業界にも直撃いたしましたし、私どもメディアも直撃を受けました。その後は、東日本大震災という大災害に見舞われ、これも広告の自粛等も含めて大きな混乱がございました。直近で言えば、消費税の引き上げ。これも国にとっては必要なことではありますが、俯瞰で見れば広告業界にも影響が出てきたというようなことがあったと思います。そういう意味では、この20年は決して平坦な道ではなかったと思いますが、皆様方が努力されて頑張っ、団結されて今日のこの20年を迎えたということは大変良かったなと思っております。

先ほど知事、前県議会議長からお話がありましたが、メディアの環境が随分と変わってきておりまして、昔は四大マスコミなどという呼び方もされていましたが、今はインターネットの時代の中でさまざまな端末も出てきておりまして、消費者側の選択肢もさまざまなものがあるため、アイデア勝負の時代となっています。インターネット時代にどう対応するかということは私どもにとっても大変な課題ですし、テレビ広告業の皆さんも同じような状況で頭を悩ませていることと思います。とはいえ、新しい時代というのはいろいろな意味でチャンスもある訳ですので、そこをどう取り込むか。これはこれで、また面白い時代ではないかと思えます。

現状の広告資産というのは、ネット広告が1兆円を超して、全体では6年ぶりに6兆円を超したというようなデータもありますが、地方経済はなかなかそこまで実感としてはないのではないかなというところがございます。そういった差異はありますけれども、広告を扱う皆様と我々メディア、これがお互いに知恵を出し合っ、一致団結、一心同体となって戦略を練っていくことが、新しい道を拓く最大のポイントかなと思います。そういう意味では、この20周年を足がかりとして、あるいは機会として、皆様の業界が益々発展されることを願っておりますし、そういう中で私どもも経営を安定させてより良い、消費者に応えられるような放送内容を展開していければと思っております。簡単ではございますが、祝宴のご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

## 乾杯の挨拶

(株)エフエム栃木代表取締役社長

# 大森 敏秋 様

ご紹介いただきました、エフエム栃木の大森でございます。今日は、栃木県広告業協会20周年。誠にありがとうございます。

弊社の話で大変恐縮でございますが、弊社は昨年、放送開始20周年を迎えまして、まさに広告業協会と時をほぼ同じくして放送活動を営んで参りました。本当に、今日お集まりの皆様の営業・企画面でのご支援の賜物であると、この席をお借りしまして厚く御礼申し上げます。それではご用意が宜しいようですので、乾杯をさせていただきます。

栃木県広告業協会の益々のご発展と、本日ご参会の皆様のご活躍、ご健勝、さらに会員規模のご発展を祈念いたしまして乾杯致します。

ご唱和をお願いいたします。乾杯。おめでとうございました。



## 中締め挨拶

(株)栃木放送代表取締役社長

# 竹澤 一夫 様

ご紹介いただきました栃木放送の竹澤です。先ほどブレイクの皆さんに素晴らしいパフォーマンスを見せていただきまして、ちょっとここで思いっきりPRをさせていただきます。私どものラジオでも明日・明後日とブレイクスの活躍の模様を実況中継でお送りしますので、どうぞラジオの方も楽しみいただければと思っております。

それでは、広告業協会の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、三本締めでいきたく思いますので、どうぞお手を拝借いたします。

それでは宜しいでしょうか。よおお!

ありがとうございました!





会員の皆様・歓

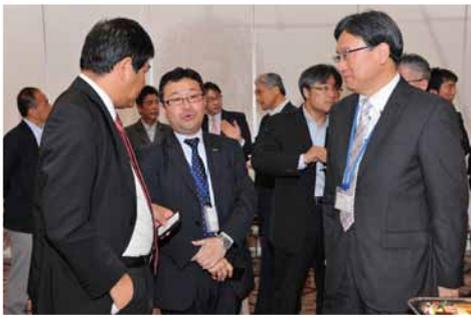
談





■ ■ ■ ■ ■ 歡 談 ・ 余 興 ■ ■ ■ ■ ■





## ご出席・ご来賓の方々

### 【ご招待社】

栃木県知事 福田富一様  
 栃木県議会 螺良昭人様  
 広告業協同組合  
 福島県広告業協会  
 栃木県デザイン協会  
 東京メトロポリタンテレビジョン(株)  
 (株)テレビ埼玉  
 千葉テレビ放送(株)  
 (株)群馬テレビ  
 (株)テレビ神奈川  
 (株)福島中央テレビ  
 (株)福島テレビ  
 (株)テレビユー福島  
 (株)福島放送  
 (株)宮城テレビ放送  
 (株)東北放送  
 (株)仙台放送  
 株東日本放送  
 (株)テレビ新潟放送網  
 (株)TBSラジオ&コミュニケーションズ  
 (株)文化放送  
 (株)ニッポン放送

(株)FMNACK5  
 (株)ベイエフエム  
 (株)茨城放送  
 読売新聞東京本社 宇都宮支局  
 毎日新聞社 宇都宮支局  
 (株)福島民報社  
 (株)神奈川新聞社  
 (株)クルール・プロジェ  
 (株)ホープ  
 (株)五光  
 (株)栃木オリコミセンター  
 (株)栃木読売IS

### 【賛助会員・協力会員】

(株)下野新聞社  
 (株)とちぎテレビ  
 (株)栃木放送  
 (株)エフエム栃木  
 (株)栃木リビング新聞社  
 (株)新朝プレス  
 (株)サンライズ社  
 (株)ダイサン  
 (株)みやもと

(株)井上総合印刷  
 晃南印刷(株)  
 (株)栃放エンタープライズ  
 (株)エイチ・アール・プロジェクト

### 【正会員】

(株)関東朝日広告社  
 (有)アドホリック  
 (株)インデックス宇都宮オフィス  
 (株)アドブレイン  
 (株)下野新聞アドセンター  
 東栄広告(株)宇都宮支社  
 (株)栃木毎日広告社  
 (株)栃木プロジェクトプロ  
 (株)読売栃木広告社  
 (株)ザックス  
 (有)ウィングス  
 カテル有限会社  
 (株)アドワン  
 (株)東北博報堂宇都宮オフィス  
 (株)電通東日本とちぎオフィス

※順不同・敬称略とさせていただきます。